

乾田直播導入について

農林水産部長 現在、考えていない。



日向栄司 議員

市営住宅の現状と課題について

議員 老朽化の程度、また耐震性に課題を抱える住棟などほどの程度あるのか。

建設部長 耐用年数を超えている住宅が22団地、住宅戸数の割合でいうと約57%、500戸が耐用年数を超えているという状態になる。

議員 市営住宅の再活用及び官民連携の可能性は。
建設部長 民間を含めた別用途での活用ができないか検討していく必要はあると考えている。

議員 官民連携モデルの検討状況は。

建設部長 民間からニーズ等があったら、民間連携モデルなども視野に入れた検討も必要であると考えている。

原城跡世界遺産センターについて

議員 入居者選定について。

農林水産部長 深江町の株式会社ミカド観光センターを選定した。

省力・節水型農業としての乾田直播栽培の普及と支援について

議員 本市としての現在の認識の変化や今後の方向性は。

農林水産部長 雲仙市の事例では、担当課から、高額な設備投資分を除いても、今後については慎重な経営判断が必要だと感じたというような所感を頂いた。

議員 実証フィールドと

末統浩二郎 委員長

総務委員長報告(概要)

・議案2件を原案可決

【議案第59号】指定管理者の指定について(南島原市エコ・パーク論所原)

質疑 公募期間は。選定委員会での意見は。

答弁 公募は7月18日から8月8日まで、イベントの自主開催等により利用者の安定確保を評価。

質疑 指定管理料の推移は。評価点数は。

答弁 平成18年度は960万円、経営努力により順次減額し今年度450万円。前回平均85点、今回平均82点で最低基準は定めていない。

質疑 50点未満があったのか。選定委員は公募か、非公開の理由は。

答弁 最低71点、最高91点。選定委員の任期は1年、公募の委員を含む。法人の決算状況など含むため非公開。

(討論はなく、採決の結果、原案可決)

【議案第60号】令和7年度南島原市一般会計補正予算(第6号)

〔総務部関係〕

質疑 合併特例債は最終的な補正か。

答弁 令和7年度中の執行状況を再調査し、発行可能額全額を使う。

質疑 エレベーター改修事業の繰越と発注変更の理由は。

答弁 工事内容・発注方法を再検討した結果、年度内完了が見込めない。当初想定していた随意契約にそぐわないことから、一般競争入札が相当と判断した。

質疑 公共施設等総合管理計画、個別施設計画策定・改定事業の債務負担行為の理由とその内容は。

答弁 計画策定に一年を要するので今年度中に契約完了し、4月着手の準備のため。現計画の達成率は60%程度、未達成分

果、原案可決)



野田小学校

答弁 平均すれば6m×6mぐらいで、土羽が被災している。

質疑 復旧工事には、地元の企業が工事を行うようになるのか。

答弁 土と繊維を混ぜ合わせて吹き付けるジオファイバー工法というやり方でやっており、それを扱う業者が県内には少ない。なるべく地元の業者を使いたい、工法によつてはそういう選定になっている。

〔福祉保健部関係〕
質疑 障害福祉サービス給付事業の増額の理由は。

答弁 障害者の方が通常利用される福祉サービスに対する給付費が、当初の見込みよりも増加したため。

〔教育委員会関係〕

質疑 9月豪雨の災害で原城跡4か所の被災した規模はどのくらいか。

答弁 国指定史跡ということで、やはり景観が変わるような工事というのはなかなかできない。

を含め計画策定し、施設の劣化調査等も実施し、統廃合・複合化など個別計画を策定。

質疑 今後の地方債の考え方は。

答弁 利率の上昇に伴い負担が重くなる。地方債発行を抑えるため、事業選択が必要。

〔地域振興部関係〕

質疑 原城前バス停の広場整備とは。

答弁 バスバレイの整備を県に要望。背後地を公園としてバス停利用者や自転車歩行者専用道路利用者の憩いの場として活用。(討論はなく、採決の結果、原案可決)



エコ・パーク論所原

日向栄司 委員長

文教厚生委員長報告(概要)

・議案6件を原案可決

【議案第52号】南島原市家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例について

質疑 家庭的保育事業は、市内に該当する事業所が新しく出来たとか、そういう情報があるのか。

答弁 条例を制定してから現在まで該当する事業所はない。

質疑 この保育事業を積極的に勧めていくような考えはあるのか。

答弁 待機児童解消のためにつくられた制度なので、待機児童がない本市では、積極的にとは考えていない。(討論はなく、採決の結果、原案可決)

【議案第54号】南島原市立認定こども園条例の一部を改正する条例について

質疑 一時預かりと乳児等通園支援事業の違いは。

答弁 一時預かりは、保護者の冠婚葬祭や病気などが理由で預けられる制度。乳児等通園支援事業は、保育の要件にかかわらず誰でも通園ができるという制度になっている。(討論はなく、採決の結果、原案可決)

【議案第58号】南島原市立学校設置条例の一部を改正する条例について

質疑 野田小学校閉校に当たって、地域住民の方への周知は。

答弁 4月、5月に地域住民や保護者の方へ学校

質疑 閉校後の跡地利用について。

答弁 統合準備委員会の中で検討を進めており、体育館については社会体育施設として、校舎と運動場については、現在のところ要望はなく、活用についてはお任せするという意見を頂いている。

質疑 統合の基準は。

答弁 野田小学校の場合は子供たちの学びをもっと豊かなものになりたいということで、保護者のほうから声が上がった。基準としては、多くの子供たちと学び合いを通した学習の充実を考えたときに、もう少し規模の大きな学校へということで、複式学級の解消というのを一つの基準にしている。(討論はなく、採決の結果、原案可決)



委員会の様子

(質疑・討論なく、採決の結果、原案可決)

【議案第53号】南島原市特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例について

(討論はなく、文教厚生委員会に分割付託された関係分については、原案可決)

【議案第61号】令和7年度南島原市国民健康保険事業特別会計補正予算(第2号)